


JDT2023 の Q&A

No.	お問合せ内容	回答
1	電子申請する際、本体・解説・索引以外に、表紙も作成する必要があるか。	表紙を作成する必要はありません。 規格票発行時に、弊会で作成いたします。
2	操作マニュアル（応用編）の 10 項（白紙横向きページ・ひな形の挿入方法）で横ページを挿入したが、その次のページを A4 縦ページに戻したい。	横ページのひな形を発生させる際に、発生させたい部分の前のページの最後から 2 行目にカーソルを置いた状態で、ひな形を発生させると、横ページの次に A4 縦ページ（白紙）が自動発生されます。ただし、最終行にカーソルを置いた状態で、ひな形を発生させると、横ページの次に A4 縦ページは発生しません。そのような場合、次のページを A4 縦ページに戻す手順は、次のとおりです。 <手順> 1. 横ページの最終行に、カーソルを合わせる。 2. JDT ツールバーの [ひな形文書] → [A4 縦長用紙] を選択する。 3. ダイアログが表示されるので、ひな形文書ファイルを選択し（どちらでも可）、[OK] ボタンを押す。 4. 発生したひな形の表を削除する。 ※Word のセクション区切りで横ページを挿入すると、ページ番号が狂ったり、目次の自動作成に支障が出るので、必ず上記の方法で行ってください。
3	JDT の古いバージョンとの互換性はあるか。	2019 以前のバージョン（JDT2017, JDT2018）と以降のバージョン（JDT2019, JDT2023）との間に互換性はありません。データの変換については日本規格協会（jdt@jsa.or.jp）にご相談ください。 JDT2023 は、JDT2019 に対し [後方互換] となっていますが、JDT2023 で編集したデータは JDT2019 で扱うことができなくなります。共同作業の場合にはバージョンを一致させるようにお願いします。
4	半角のバックスラッシュ“\”を入力しようとすると、“¥”になる。どのように入力すればよいか。	通常の入力方法では、“¥”と表示されます。この場合、次の方法 1 又は方法 2 を行ってください。 <方法 1：数式を用いる場合> 1. 入力したい場所にカーソルを合わせる。 2 [★JDT ホーム] → [数式] → [数式作成] → [数式の挿入] を選択する。 3. 半角のバックスラッシュ“\”を入力し、数式エディタを閉じる。 <方法 2：ファイルのオプションを変更する場合> 1. [ファイル] → [オプション] → [詳細設定] タブを選択する。 [レイアウトオプション] を開き、 [バックスラッシュを円記号(¥)に変換する] のチェックを外す。入力したい場所にカーソルを合わせ、半角のバックスラッシュ“\”を入力する。 ※方法 2 の場合、“¥”を表示することができなくなります。“\” 及び “¥” を同時に表示したい場合は、方法 1 を行ってください。

エラーに関するお問い合わせ

No.	エラー内容	対処方法
1	JDT がインストールできない。	<p>お使いになっている環境のセキュリティによっては、次の要因によりインストールできない場合があります。</p> <p>①実行ファイルの実行が許可されない ②システム領域にデータを書き込めない</p> <p>これらの場合、あらかじめ実行ファイルから展開したデータを、ユーザ領域にコピーすることで JDT を起動できるようになります。</p> <p>詳しい手順については、日本規格協会 (jdt@jsa.or.jp) までご連絡ください。</p>
2	JDT のメニューが表示されず、機能が使えない。	<p>次のいずれかの原因が考えられます。</p> <p>①JDT が起動していない JDT を起動してから、該当ファイルを開いてください。</p> <p>②該当ファイルをダブルクリックで開いたテンプレートが適用されない状態でファイルが開くことがあります。JDT を起動し、“JIS ファイル” → “開く” から該当ファイルを開いてください。③ツールバーが表示されていない JDT を起動し、ツールバーの上で右クリックを押してください。表示された一覧の中から黒い星 (★) が前についている項目にチェックを入れると、ツールバーが表示されます。</p> <p>④テンプレートが適用されていない JDT を起動し、“ファイル”メニュー → “オプション” → “Word のオプション” → “アドイン” → “アクティブなアプリケーションアドイン” の中に “JIS_Control.dotm” があるかを確認してください。 “JIS_Control.dotm” がない場合、次の手順でアクティブにします。 “管理”の“テンプレート”を選択 → 設定ボタンをクリック → “テンプレートとアドイン”ダイアログが表示される。 → “アドインとして使用できるテンプレート”で“JIS_Control.dotm”にチェック → “OK”をクリック</p> <p>⑤「使用できないアイテム」に指定されている JDT を起動し、“ファイル”メニュー → “オプション” → “Word のオプション” → “アドイン” → “管理”のプルダウンメニューから“使用できないアイテム”を選択し、“設定”ボタンを押す。ダイアログボックス内に “JIS_Control.dotm”があるか否かを確認してください。 ある場合は、それを選択した状態で“有効にする”ボタンを押すと、有効になります。</p> <p>⑥マクロの認証がなされていない Word のオプション → セキュリティセンターの設定から、 「MicrosoftOffice の信頼できる場所」に JDT のインストールフォルダを追加してください。詳細は操作マニュアル (基本編) の 7 ページから記載されています。</p>

No.	エラー内容	対処方法
3	<p>JDT を起動したときに、次のエラーメッセージが表示される。</p> <p>例 1 エラー番号 5121MicrosoftWord でエラーが発生しました。</p> <p>例 2 実行時エラー'5152':アプリケーション定義またはオブジェクト定義のエラーです。</p>	<p>次のいずれかを行ってください。</p> <p>①インストール JDT のインストールは、administrator 権限で行う必要があります。administrator 以外のユーザーでログインしている場合は、ユーザー権限を“poweruser”以上に設定してください。</p> <p>②マクロの設定 [マニュアル (基本編) p.5~9 参照] JDT を起動する前に、Word を起動し“ファイル”メニュー→“オプション”→“Word のオプション”→“セキュリティセンター”→“セキュリティセンターの設定”→“デジタル署名されたマクロを除き、全てのマクロを無効にする”に設定します。さらに、“セキュリティセンター”→“信頼できる場所”→“新しい場所の追加”から、インストール先フォルダを選択し、“この場所のサブフォルダも信頼する”にチェックを入れ、OK ボタンをクリックした後、Word を終了します。</p> <p>注記 1 “警告を表示せずに全てのマクロを無効にする”又は“警告を表示して全てのマクロを無効にする”に設定している場合、JDT は作動しません。</p> <p>注記 2 マクロの設定だけでなく、インストール先フォルダとサブフォルダの設定も同時に行わないと、JDT のマクロは正常に動作しません。</p>
4	<p>JDT を起動したときに、「mfc100.dll が必要である」旨のエラーメッセージが表示される。</p>	<p>VC++ のモジュールがインストールされていない場合このメッセージが表示されます。起動用のプログラムが動作できない場合でも、スクリプト起動で動作させることができます。詳しい手順については、日本規格協会 (jdt@jsa.or.jp) までご連絡ください。</p>
5	<p>特定の JDT ボタンをクリックすると、“実行時エラー'4120':引数が正しくありません。”が表示される。</p> 	<p>“ファイル”メニュー→“Word のオプション”→“基本設定”→“MicrosoftOffice のユーザー設定”の“ユーザー名”に任意の文字列 (例えば“JDT”など) を入力し、“OK”をクリックする。</p> <p>注記 このエラーは、“ユーザー名”にスペースだけ入力されている場合に発生します。</p>
6	<p>「既存規格票編集」 「開く」で作成済のデータを指定しても開くことができない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> データファイルの名称 (フォルダパス名とファイル名の合計) が長すぎる場合、プログラムから開けない場合があります。ファイル名を短くするか、フォルダ構成の浅い場所にコピーしてお試しください。 JDT のバージョンを確認してください。

